

南房総市公式ホームページリニューアル業務委託

仕様書

令和7年7月

目次

1. 業務概要	2
2. 業務目的	2
3. 基本方針	2
(1) 安定した稼働を実現する「いつでも使うことができる」サイトの構築	2
(2) 親しみやすく効果的な広報広聴媒体としての活用.....	2
(3) 高齢者・障害者を含めたすべての利用者が支障なく利用できるホームページ....	2
(4) 誰もが目的の情報に簡便かつ快適にたどりつけるホームページ	2
(5) コンテンツ作成者・管理者の支援.....	2
(6) 拡張性の確保及び柔軟性の高い保守運用対応.....	2
4. 業務概要	3
5. 対象ホームページ	3
6. 要求仕様	4
(1) システム構築	4
(2) ホームページ要件.....	6
(3) 職員研修等	8
(4) 運用・保守	8
7. 業務の再委託について	9
8. その他	9

1. 業務概要

(1) 本仕様書の趣旨

本仕様書は「南房総市公式ホームページリニューアル業務」にあたり、本市が前提となる仕様を提示するものである。

(2) 契約期間

構築期間 契約締結日の翌日から令和8年3月31日まで

運用期間 令和8年4月1日からとする

(3) スケジュール（予定）

ホームページ公開日 令和8年3月 1日予定

動作確認 令和8年3月31日まで

2. 業務目的

南房総市ホームページは、ホームページ管理システム（CMS）にて、各課の情報発信を行ってきた。しかし、高度化・多様化する閲覧者のニーズやアクセシビリティへの対応が求められるなか、管理・運営についてより一層の改善が求められるようになっている。

また、閲覧者から「必要な情報にたどり着けない」「古い情報がいつまでも掲載されている」など、様々な意見が寄せられており、サイト構成やシステム的な問題への対応も求められている。

さらに、加速化する自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）化に沿ったデジタルコンテンツの充実、SDGs（持続可能な開発目標）への取り組みへの周知なども急務となっている。

これらのことから、南房総市公式ホームページの現状をふまえたうえで、以下の内容に沿ったリニューアルを目指す。

- (1) ターゲットを明確にし、目的の情報に即座にたどり着くことができるサイト構成・デザイン

「高齢者」「身体に障がいのある人」「行政の仕組み・制度への理解が低い人」などのアクセシビリティ向上を前提とし、探している情報に誰でも即座にたどり着くことができるサイトを構築する。

- (2) 南房総市のブランドイメージを適切に伝えられるデザイン

「南房総市らしさ」を伝えられるサイト、効果的な地域セールスができるサイトを構築する。

- (3) 分かりやすく、質・量ともに満足できるサイト

視覚だけに頼らず、誰もが楽しむことができるコンテンツの充実も図り、閲覧者が質・量ともに満足できるサイトを構築する。

- (4) 災害対応

災害時にも迅速、かつ的確に情報を発信できるような機能を構築する。

3. 基本方針

(1) 安定した稼働を実現する「いつでも使うことができる」サイトの構築

利用者が知りたいときに知りたい情報をいつでも受け取れる常に安定した環境を提供すること。また、災害発生などの緊急時・非常時でも、迅速かつ安定的な情報発信が可能なシステムを構築する。

(2) 親しみやすく効果的な広報広聴媒体としての活用

「南房総市らしさ」を活かしたブランドイメージの向上、地域セールス力の向上につながるようなデザイン、機能、サイト設計をする。また、スマートフォンなど様々な閲覧端末での情報発信を含めホームページの効率的な運用のほか、新たなツールや動画サイトを活用した情報の受発信など市民と行政の親しみやすいコミュニケーションを促す仕組みを構築する。

(3) 高齢者・障害者を含めたすべての利用者が支障なく利用できるホームページ

日本産業規格「JIS X 8341-3:2016（高齢者・障害者等配慮設計指針-情報通信における機器、ソフトウェアおよびサービス第3部：ウェブコンテンツ）」、「みんなの公共サイト運用ガイドライン（2024年版）」等のアクセシビリティに関する規格の要件を満たすものとする。

(4) 誰もが目的の情報に簡便かつ快適にたどりつけるホームページ

カテゴリ分類、ジャンル、メニューなどで構成するナビゲーションやデザインだけに頼らず、即座に目的の情報にたどり着くための検索機能を強化したサイト構成・デザインにすること。

(5) コンテンツ作成者・管理者の支援

特に HTML の知識がなくても、職員が容易に「JIS X 8341-3:2016」に準拠したコンテンツが作成できるものとする。また、リンク切れや掲載期間などコンテンツを自動的に管理することで管理担当職員の負担を軽減する。

(6) 拡張性の確保及び柔軟性の高い保守運用対応

運用開始後の機能向上やホームページの構造変更等を柔軟に行えるとともに、将来的なシステムの拡張性を考慮するものとする。また、本業務の受注者は、データのバックアップ、セキュリティパッチ適用等の定期的な保守を実施するとともに、機能向上のための対応を行うものとする。

4. 業務概要

- (1) 現行サイトの調査・分析と問題箇所・弱点の抽出・改善
- (2) ASP サービスの提供及び保守管理
- (3) CMS のシステム構築・設定
- (4) 現行サイトから新システムへのデータ移行
- (5) 千葉県セキュリティクラウドとの接続

- (6) カテゴリ分類、掲載内容等のコンサルティング
- (7) サイト設計及びトップページほか各ページの企画・デザイン
- (8) 防災行政無線システム連携
- (9) コンテンツ作成及びコンテンツ移行
- (10) 操作研修及び各種マニュアル作成

5. 対象ホームページ

(1) 移行対象

- ・市公式ホームページ (<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/>. 配下)

(2) CMS管理外コンテンツ

南房総市web版防災ハザードマップ

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/hazardmap/index.html>

※準備していただくWEBサーバにCMS管理外の場所で公開する。

6. 要求仕様

(1) システム構築

① 運用

- ・サーバについては、CMS・WWWサーバ等を庁外のデータセンターに設置し、受注者において管理・運用・保守を行うASPまたはSaaS型とする。
- ・データセンターについては、別紙「データセンター要件」の項目をすべて満たすものとする。
- ・災害時等緊急の場合、南房総市役所以外の場所からでも本市ウェブサイトの更新が可能となる仕組みを提案すること。
- ・インターネット網からのWEBサーバへの接続は、千葉県セキュリティクラウドを経由した接続とする。千葉県セキュリティクラウドの利用においてASPサービスに係る情報提供及び通信機器の設定、WEB及びFTP接続試験、Eメール送信試験等について受託者が責任を持って行うこと。

設定、試験等に費用が発生する場合は、その費用も提案見積金額に含めること。千葉県セキュリティクラウド内のリバースプロキシサーバ、DNSサーバ、SMTPサーバ、通信機器の設定等については、本市が行う。
- ・CMSサーバのアクセス性能については、複数のユーザーが同時に作業をした際にもストレスなく作業ができること。(同時接続数は最大 500 ユーザーを想定)
- ・クライアント端末からCMSサーバへのアクセスは、接続元のグローバルIPアドレスにより制限すること。

- ・クライアント端末からCMSサーバへは、ブラウザを通じて、IDとPassword 認証にてログインを行うこと。
- ・運用するサーバは、クロスサイトスクリプティング等の脆弱性に十分な対策を行うこと。
- ・セキュリティ対策には万全を期すこと。また、運用するサーバにはウィルス駆除ソフトにより、ウィルスの侵入を防止するとともに、常に最新のパターンファイルをダウンロードする環境を構築すること。
- ・CMSで作成・公開するページは、SSL暗号化通信に対応させること。なお、SSLの更新手続きは、受注者が責任を持って行うこと。SSL使用による費用が発生する場合は、その費用も見積りに含めること。
- ・登録職員やページ数の増加によるライセンス料金が発生しないこと。（当初ユーザーは500人、承認者は50人を想定。庁内PCは約500台）
- ・システムの導入後も定期的にリビジョンアップ等により機能強化を行えること。
- ・システム運用に係る機器は、データセンターに設置するものとし、その運用主体はSO 27001の認定取得企業であること。
- ・庁内 LAN（南房総市役所のイントラネット）上で動作するクライアント端末から作成・更新・管理業務が行えること。利用するクライアント端末には、別途アプリケーションのインストール等することなく、ウェブブラウザのみで動作可能であること。なお、クライアント端末の条件は次のとおりとする。

項目	スペック等
OS	Windows10、Windows11、Windows Server 2019以降
ブラウザ	Microsoft Edge、Google chrome
メインメモリ	1GB 以上

② パッケージ・実績等

- ・導入する CMS は、千葉県等他自治体で稼働実績をもつパッケージソフトであること。パッケージに無い機能はカスタマイズまたは他のソフトとの連携を可とするが、見積金額にはオプション・カスタマイズ・他ソフトの構築・運用費など全て含めること。
- ・以下の機能強化を実現すること。
コンテンツID検索機能、分類メニューページにおける分類メニューとコンテンツページタイトルの同時表示。

③ 報告書等

- ・本業務の各工程において、下表に示すドキュメント（紙媒体1部、電子媒体1式）を作成し、遅延無く提出すること。なお、提出時期については、本市と協議の上適切な時期を設定する。

帳票名	内容等
業務計画書	業務体制、詳細スケジュール、連絡体制など
庁内向け運用マニュアル	リニューアル後のホームページの作成・運用とアクセシビリティ対応に関する職員向けマニュアル
システム設定関係	サーバ設定関連資料等など
議事録	本市と受託事業者の打合せ内容の議事録
その他	その他本市が必要と判断した書類

④ 編集管理機能

- ・別紙「CMS機能要件一覧表」を参照すること。

(2) ホームページ要件

① コンサルティング

- ・現行ホームページのコンテンツの現状調査を行い、カテゴリ分類、情報分類、掲載内容等のコンサルティングを行うこと。
- ・移行コンテンツの精査分析を行うこと。
- ・アクセシビリティ全般に関するコンサルティングを行うこと。

② 企画・デザイン

- ・ユーザビリティ、アクセシビリティに配慮し、目的とするコンテンツに、原則3クリック以内、最大でも5クリック程度で到達できるサイト構造とすること。
- ・トップページのデザインや項目などは互いに協力して妥協することなく作成すること。パソコン、スマートフォン、タブレット等の閲覧者環境の多様化に対応し、各々の環境で適切に市公式ホームページが表示されるようにすること。
- ・詳細情報ページおよび分類中間ページは、トップページのデザインとの統一性を確保すること。
- ・デザインなどが特殊なテンプレート（オープンデータ、FAQなど）は事前に本市と協議の上、準備すること。
- ・稼働後のトップページレイアウトの変更が容易であること。
- ・トップページほか各ページに関する素材等を作成し、元データを本市に提供すること。なお、データは一部修正して本市が利用することができるものとする。
- ・ホームページ制作上の最新技術等の情報提供、提案を行うこと。
- ・利用者の誰もが読みやすく見やすいようにUDフォントを採用すること。

③ トップページ

- ・トップページは総合トップとし、デザインは本市の希望に沿ったものにすること。
- ・あらゆる閲覧者に共通する情報検索方法は、キーワードによる検索とコンテンツID検索によるものとする。閲覧者にとってのユニバーサルデザインをベースにし、「南房総市」をアピールできるデザインにすること。なお、デザインの詳細は打合せのうえ決定すること。
- ・カテゴリ分類に基づき、ローカルナビゲーションメニューを配置できること。
- ・緊急時用のトップページ切替機能があること。
- ・トップページに緊急情報が表示でき、トップページへの表示、非表示が設定できること。
- ・防災行政無線システムから配信されるメールをトップページに自動表示させること。自動表示させるための連携方法は、防災行政無線システムの提供元である株式会社OKIまたは株式会社Arcadiaの指定する方法を用いること。
- ・サイト全体の構造が容易に理解できるサイトマップを配置すること。
- ・アクセスランキングを簡単な操作で表示できること。
- ・トップページにバナー広告を掲載できること。（20個程度を想定）また、バナー広告クリック数の集計できること。

④ 特設ページ構築

- ・ヘッダー、フッター含め市の公式トップページとはデザインの異なるトップページ画像・トピックス・新着情報・オリジナルメニュー等を表示する特設ページを構築すること。※カッコ内は現行サイトのURLです。

子育て支援サイト（新設のためURL無し）

防災ポータルサイト（新設のためURL無し）

※トップページに自動表示させる防災行政無線システムのものを防災ポータルのトップページにも表示させること。

⑤ 分類トップページの構築

- ・ヘッダー、フッター等は市の公式トップページと共有するが、簡易的なトップページ機能(トップページ画像・トピックス・新着情報・オリジナルメニュー等)を表示させた分類トップページを構築すること。

現在、構築している分類トップページは以下のとおり。

「暮らし・手続き」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/category/8-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

「医療・健康・福祉」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/category/17-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

「子育て・教育」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/category/18-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

「文化・学習・スポーツ」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/category/19-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

「産業・観光・移住」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/category/20-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

「事業者向け情報」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/category/12-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

「市政情報」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/category/9-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

「南房総市議会」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/category/13-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

「南房総市教育委員会」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/category/14-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

「申請書ダウンロード」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/category/15-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

以上、これらと同等のものを構築すること。名称等は協議の上決定すること。

⑥ コンテンツ作成・移行

- ・音声読み上げサービスに対応したコンテンツとすること。

閲覧者の使用する Web ブラウザは以下のものを想定し、これらのブラウザで適切に表示されるとともに、モバイル端末でも、適切に表示されるように構築すること。

✓Microsoft Edge 最新バージョン

✓Google Chrome最新バージョン

✓i O S Safari最新バージョン

✓Android Google Chrome最新バージョン

- ・すべてのコンテンツにトップページへのリンクを用意すること。
- ・すべてのコンテンツにパンくずリストを自動作成すること。
- ・本市職員がパソコン向けコンテンツを作成・更新することにより、スマートフォン、タブレット等の閲覧者の環境に対応したページが自動的に生成されること。
- ・既存環境のコンテンツ及び分類ページを新規の環境へ移行すること。
移行するページ数は2,000ページを想定する。
- ・デザインの確認及び移行データ・CMS機能を検証する際は、本市のパソコンから確認できる環境を用意すること。

⑦ アクセスログ解析

- ・市内 LAN 接続端末からアクセスログが簡単に解析できる機能を提供すること。なお Google Analytics 等も可とするが、以下の機能は満たしていること。他有効なシステム等あれば提案すること。
 - ✓ 日別・月別等の確認、解析が行えること。
 - ✓ 解析結果のデータは CSV ファイル等で容易に保存、出力できること。
 - ✓ バナー広告クリック数を日毎・月毎等の確認、解析ができること。

⑧ 検索エンジン

- ・フリーワード検索、絞り込み等の検索機能を有し、検索結果において生成AIで補足を表示できるサイト内検索を導入すること。検索の対象は南房総市ホームページ内のHTML及びPDFとする（総数約8000ページビュー）。
- なお、検索エンジンの利用数（日別・月別等）の集計を取れるようにすること。

⑨ 外国語翻訳

- ・すべてのコンテンツを英語、中国語（簡体語・繁体語）、韓国語、ベトナム語に自動翻訳する機能を提供すること（有償無償は問わない）。

⑩ アクセシビリティ

- ・原則、日本産業規格「JIS X 8341-3:2016」達成レベルAAに準拠すること。
- ・リニューアル後、「JIS X 8341-3:2016」及びウェブアクセシビリティ基盤委員会の「試験実施ガイドライン」を参考に試験を実施し、試験結果を提出すること。
また、JIS 試験とは別に、移行対象の全ページに対して総務省より配布されたアクセシビリティ評価ツール（miChecker Ver3.1）を用いて移行コンテンツ全ての検査を行い、その結果も合わせて報告すること。「問題あり」や「問題の可能性大」の結果を受け、「問題あり」「問題の可能性大」がなくなるまで修正を行うこと
- ・「JIS X 8341-3:2016」、「みんなの公共サイト運用ガイドライン（2024年版）」に基づき、本市と協議の上、「ウェブアクセシビリティ方針」を策定すること。

(3) 職員研修等

- ・操作マニュアル（CMS 管理者用・作成者用・承認者用）を作成し、紙媒体及び電子媒体にて提出すること。
- ・作成者向け操作研修（職員 20名程度、4 回（2 日間）それぞれ 2 時間程度）を行うこと。
- ・承認者向け操作研修（職員数10名程度、1 回（1日間）それぞれ 1 時間程度）を行うこと。
- ・管理者向け研修（職員 2 名程度 1 回）を行うこと。
- ・研修用システム環境及び講師・サブ講師・研修用テキスト（人数分）については受注者が用意すること。（会場及びインターネット接続パソコン等機器は本市で用意する。）ただし、他に有効な研修方法があれば、提案すること。

（4）運用・保守

- ・保守体制及び連絡先等を明確にした保守体制表を作成すること。
 - ・保守体制表には本市と受注者の連絡体制や情報発信方法などを具体的に示すこと。
 - ・障害が発生した場合は、速やかに対応を行うこと。
 - ・システム障害、システム設定変更等の連絡窓口を一本化すること。
 - ・セキュリティの脆弱性が発見された場合は、市の同意を得た後、修正プログラム、セキュリティパッチの提供、バージョンアップ及び設定変更等の対策を速やかに行うこと。なお、事前に動作確認を行うなど、運用に影響を与えないこと。
- オリジナルのパッケージソフト、オープンソース（OSS）として公開されているパッケージソフトに関わらず、運用保守費用に本対応費用を含めること。
- ・稼働後も円滑なホームページ運営ができるように CMS 管理者を対象とした問い合わせ窓口の設置などのサポートを行うこと。
 - ・上記問い合わせ窓口は、平日午前8時30分から午後5時15分（土日・祝日を除く）について電話・ファックス・メールでのサポートを行うこと。なお、サポートは、本市のサイトを熟知した者が行うこと。
 - ・システムに障害が発生した場合のために必要なバックアップを行うこと。なお、バックアップは媒体または別サーバに行い、日次 5 世代を管理すること。
 - ・システムに障害が発生した場合、迅速に検知するためにシステム監視を行うこと。
 - ・ログの管理を行い本市の指示があればログの提出に対応すること。
 - ・修理は、障害の発見から、平日午前8時30分から午後5時15分内においては1時間以内、夜間及び休日においては2時間以内に着手すること。

7. 業務の再委託について

受注者は、本契約に基づく業務を第三者に委託する場合、事前に本市から承認を得ること。この場合において、再委託の内容、再委託先の会社概要、その他再委託先に対する管理方法等を書面により提出すること。

8. その他

令和８年度から令和１２年度における各年のシステム維持・保守等に係る金額は、本契約構築費総額の３割までとする（入札時には提出不要）。

その他、本仕様書に定めのない事項については、協議の上決定すること。